2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　マミヤ・オーピー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7991　　ＵＲＬ　https://www.mamiya-op.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）関口　正夫
問合せ先責任者　（役職名）総務部長　　（氏名）熊手　正浩　　ＴＥＬ　03-6273-7360
半期報告書提出予定日　　2026年11月９日　　配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	8,098	△38.7	95	△95.1	523	△75.9	410	△73.9
2026年３月期中間期	13,215	△35.9	1,938	△63.3	2,176	△60.5	1,572	△60.0

（注）包括利益 2027年３月期中間期　　720百万円 （△63.6%） 2026年３月期中間期　　1,979百万円 （△48.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	39.66	39.42
2026年３月期中間期	152.26	151.33

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	38,987	26,322	67.4	2,538.25
2026年３月期	39,929	26,117	65.2	2,521.89

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　26,274百万円　　2026年３月期　　26,045百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	50.00	50.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△18.6	900	△52.2	1,500	△37.2	1,200	△29.9	116.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料P. ８「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	10,508,670株	2026年３月期	10,508,670株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	157,163株	2026年３月期	180,855株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,338,017株	2026年３月期中間期	10,328,232株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. ２「１．当中間決算に関する定性的情報（１）経営成績に関する説明」、同じくP. ３「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気が緩やかに回復しておりますが、中東情勢や自然災害、金融資本市場の変動の影響にも引き続き注意する必要があります。

このような経済環境の下で当社グループは、「モノづくり」から「コトづくり」への転換を視野に入れつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対する解決の提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

当中間連結会計期間の経営成績は、前年第１四半期まで継続した紙幣識別機の改刷対応の終息、原価率の上昇、新築不動産に係る租税公課の影響を受けました。この結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は80億98百万円（前年同期比38.7%減）、営業利益は95百万円（前年同期比95.1％減）、経常利益は５億23百万円（前年同期比75.9％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は４億10百万円（前年同期比73.9％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

（電子機器事業セグメント）

アミューズメント関連製品につきましては、スマート遊技機の設置台数が継続的に伸び、スマート遊技機用ユニットの需要が順調に推移している中、さらなる販売拡大に向け、他社製品との差別化に取り組みつつ、取引先への積極的なアプローチに努めてまいりました。

液晶小型券売機につきましては、新型券売機の販売に伴う販売単価の上昇の影響を受けましたが、広告運用の効率化及び代理店との関係強化に継続的に取り組んでおります。

ゴルフ場用カートクーラー冷風機「涼風/SUZUKAZE」につきましては、自然災害や天候の影響を受けながらも、販売店と連携しながら営業活動に取り組み、ゴルフ場への導入を順調に進めております。

ゴルフ場芝刈機用の自律走行システム「I-GINS」につきましては、不安定な世界情勢の影響に起因する車体価格の上昇の影響を受けながらも、組立工数や構成部品の見直しによるコストダウンに取り組みつつ、並行して新規顧客開拓や既存顧客との関係性の強化をはじめとした戦略的な営業活動の実践及び保守メンテナンス体制の強化に継続的に取り組みました。

システムソリューションにつきましては、システム開発やシステム移行支援に関する委託先からの追加や変更の要望にも積極的に取り組んでおります。

モバイルオーダーシステムにつきましては、顧客のニーズに合わせた「CHUUMO」のカスタマイズに積極的に取り組むことで顧客との関係強化を図りつつ、広告運用の見直しや展示会を通じた認知度の向上による新規顧客の獲得、代理店開拓による販売チャネルの強化にも引き続き注力しております。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は53億63百万円（前年同期比49.6％減）、営業利益は95百万円（前年同期比95.1%減）となりました。

（スポーツ事業セグメント）

スポーツ事業につきましては、グローバルブランドの「LIN-Q」をはじめ、「ATTAS」や「Recoil」といったブランドを展開し、認知度の更なる向上を目指して国内外での販促活動に注力してまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、不安定な世界情勢による原材料費や物流コストの高騰の影響を受けつつも、「ATTAS」ユーザーの女子プロ選手の活躍やYouTubeをはじめとするSNSの活用によるブランド認知度向上を図るとともに、新製品の「ATTAS RX PURE BLUE」の発売に伴う販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は25億65百万円（前年同期比3.6％増）、営業利益は42百万円（前年同期比54.7%増）となりました。

（不動産事業セグメント）

不動産事業につきましては、保有不動産のリバランスや仲介ビジネス等に取り組んだことに加え、賃貸マンション「Luvast Yoyogi Park」の竣工もあり、売上高は伸張したものの、「Luvast Yoyogi Park」完成時の税務規定に基づく一過性の費用処理により、利益が減少いたしました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は１億69百万円（前年同期比60.0％増）、営業損失は41百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は196億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億74百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が18億14百万円、商品及び製品が２億50百万円減少したことによるものであります。固定資産は193億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億33百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が８億73百万円、土地が８億97百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は389億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億41百万円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は48億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億77百万円減少いたしました。これは主に買掛金が４億94百万円、電子記録債務が３億１百万円、１年内返済予定の長期借入金が２億71百万円減少したことによるものであります。固定負債は77億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億69百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が１億２百万円、繰延税金負債が１億３百万円増加したものの社債が５億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は126億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億46百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は263億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億５百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益４億10百万円の計上があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.4％（前連結会計年度末は65.2％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては、2026年５月13日付「2026年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,342,901	8,528,225
受取手形及び売掛金	3,495,164	3,582,332
電子記録債権	469,009	520,234
商品及び製品	1,797,103	1,546,846
仕掛品	902,236	1,005,855
原材料及び貯蔵品	3,863,415	3,770,170
販売用不動産	265,659	265,659
その他	1,118,672	458,055
貸倒引当金	△6,093	△4,062
流動資産合計	22,248,069	19,673,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,764,326	2,637,861
機械装置及び運搬具（純額）	378,074	346,574
工具、器具及び備品（純額）	169,777	151,408
土地	5,378,856	6,276,728
リース資産（純額）	319,075	303,139
建設仮勘定	792,702	229,637
有形固定資産合計	8,802,812	9,945,348
無形固定資産		
その他	196,830	237,384
無形固定資産合計	196,830	237,384
投資その他の資産		
投資有価証券	6,456,559	6,826,404
長期貸付金	671,589	631,753
出資金	1,056,090	1,235,380
繰延税金資産	35,563	40,219
その他	470,209	406,677
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	8,681,487	9,131,911
固定資産合計	17,681,130	19,314,644
資産合計	39,929,200	38,987,960

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728,550	1,233,678
電子記録債務	492,098	190,509
短期借入金	400,000	180,000
１年内償還予定の社債	200,000	500,000
１年内返済予定の長期借入金	2,318,579	2,047,286
未払法人税等	40,674	160,674
賞与引当金	123,053	110,562
その他	457,409	460,624
流動負債合計	5,760,366	4,883,336
固定負債		
社債	700,000	200,000
長期借入金	5,473,085	5,575,286
繰延税金負債	477,583	581,265
役員退職慰労引当金	43,750	45,993
退職給付に係る負債	990,484	1,016,936
その他	366,858	362,691
固定負債合計	8,051,760	7,782,173
負債合計	13,812,127	12,665,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,804,323	4,804,323
資本剰余金	1,030,685	1,037,985
利益剰余金	18,099,065	17,987,202
自己株式	△260,708	△238,631
株主資本合計	23,673,364	23,590,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,057,076	1,306,500
繰延ヘッジ損益	34,857	58,776
為替換算調整勘定	1,280,313	1,318,570
その他の包括利益累計額合計	2,372,247	2,683,847
新株予約権	60,890	46,553
非支配株主持分	10,569	1,169
純資産合計	26,117,072	26,322,450
負債純資産合計	39,929,200	38,987,960

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	13,215,155	8,098,138
売上原価	9,245,523	5,741,702
売上総利益	3,969,631	2,356,436
販売費及び一般管理費	2,031,310	2,260,819
営業利益	1,938,320	95,616
営業外収益		
受取利息	38,173	39,279
受取配当金	79,778	74,967
為替差益	―	34,838
出資金運用益	203,168	194,790
持分法による投資利益	91,432	157,829
その他	5,098	9,920
営業外収益合計	417,651	511,625
営業外費用		
支払利息	49,345	65,378
為替差損	123,838	―
その他	6,783	18,215
営業外費用合計	179,968	83,594
経常利益	2,176,003	523,648
特別利益		
固定資産売却益	737	14,292
特別利益合計	737	14,292
特別損失		
固定資産除売却損	1,247	564
特別損失合計	1,247	564
税金等調整前中間純利益	2,175,493	537,376
法人税、住民税及び事業税	557,525	147,663
法人税等調整額	45,639	△19,486
法人税等合計	603,165	128,176
中間純利益	1,572,328	409,200
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△235	△820
親会社株主に帰属する中間純利益	1,572,564	410,021

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,572,328	409,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	564,402	230,142
繰延ヘッジ損益	11,134	23,918
為替換算調整勘定	△198,116	38,257
持分法適用会社に対する持分相当額	30,121	19,280
その他の包括利益合計	407,542	311,599
中間包括利益	1,979,871	720,799
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,980,106	721,620
非支配株主に係る中間包括利益	△235	△820

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額
	電子機器事業	スポーツ事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,633,304	2,476,423	105,427	13,215,155	－	13,215,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	20	455	595	△595	－
計	10,633,424	2,476,443	105,882	13,215,750	△595	13,215,155
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,942,723	27,153	△31,555	1,938,320	－	1,938,320

（注）報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額
	電子機器事業	スポーツ事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,363,297	2,565,436	169,404	8,098,138	－	8,098,138
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	349	－	349	△349	－
計	5,363,297	2,565,785	169,404	8,098,487	△349	8,098,138
セグメント利益又はセグメント損失（△）	95,042	42,006	△41,432	95,616	－	95,616

（注）報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。